

# 「枚方市役所 CO<sub>2</sub> 削減プラン」及び「エコオフィスに関する取り組み」について

## 1. 枚方市役所 CO<sub>2</sub> 削減プラン（2013～2017 年度）の取り組み

### (1) 削減プランの概要

「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、本市の事務事業に関し、温室効果ガスの排出抑制等の対策に取り組むため、平成25年3月に「枚方市役所CO<sub>2</sub>削減プラン（2013～2017年度）～枚方市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）～」を策定しました。

この計画では、温室効果ガスのうち二酸化炭素・メタン・一酸化二窒素・ハイドロフルオロカーボンを対象としています。また、計画期間を平成 29 年度までとしており、削減目標は、表 1 のとおりです。

<表 1 温室効果ガスの排出削減目標>

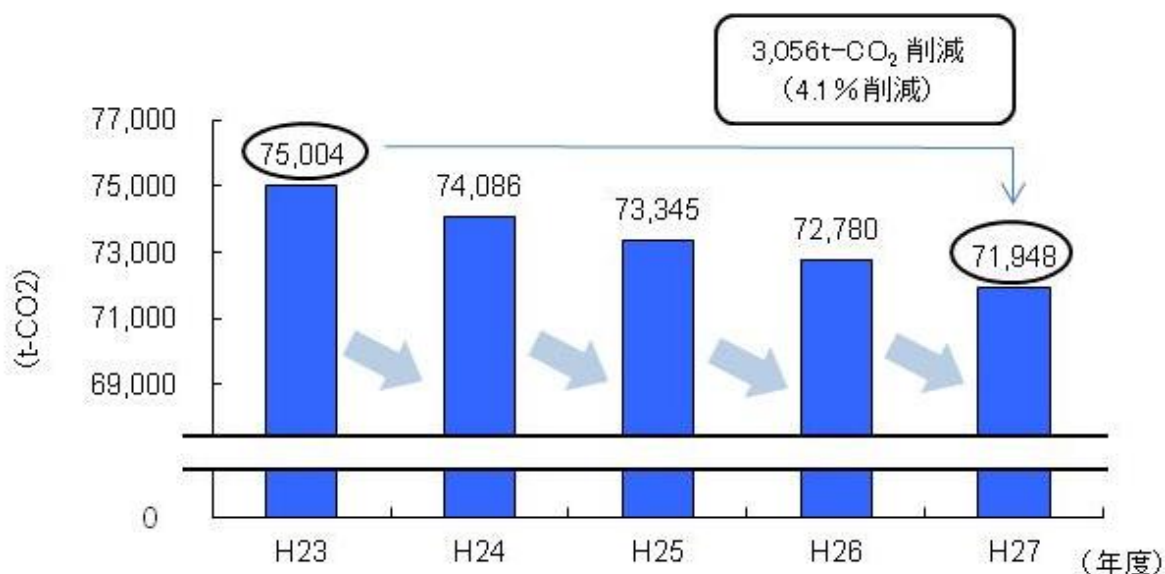
	平成 23 年度（基準年度）	平成 29 年度（目標年度）
温室効果ガスの排出量	75,004 t-CO <sub>2</sub>	70,504 t-CO <sub>2</sub>
温室効果ガスの削減量（削減率）	基準年度	4,500 t-CO <sub>2</sub> （6%）

### (2) 平成 27 年度の取り組み実績

#### ①平成 27 年度の温室効果ガスの総排出量

平成27年度に本市の事務事業に伴い排出された温室効果ガスの総排出量は、図1に示すとおり、二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) 換算で71,948t-CO<sub>2</sub>でした。基準年度である平成23年度と比較すると3,056t-CO<sub>2</sub>、4.1%の削減となり、平成27年度の削減目標を達成することができました。

図 1 温室効果ガス総排出量 (CO<sub>2</sub> 換算)



②平成 27 年度の温室効果ガス及び発生要因別エネルギー使用量の削減目標達成状況

平成27年度のエネルギー使用量等の実績は、表2のとおりです。8項目中、4項目で目標を達成しました。個々のエネルギー使用量等でみると、目標を達成できていない項目もありますが、温室効果ガスの総排出量でみると、平成27年度の削減目標を達成することができました。

軽油及びガソリンで目標が達成できなかったのは、公用車の総走行距離が前年度より増加したことが主な要因と考えられます。重油に関しては、ポンプ場の稼働率が平成23年度よりも高かったのが大きな要因です。

また、前年度に引き続き、非エネルギー部門からの温室効果ガス排出量で目標が達成できませんでした。これは、ごみの排出量が前年度より増加したことが大きな要因です。

<表 2 平成 27 年度実績>

(単位：t-CO<sub>2</sub>)

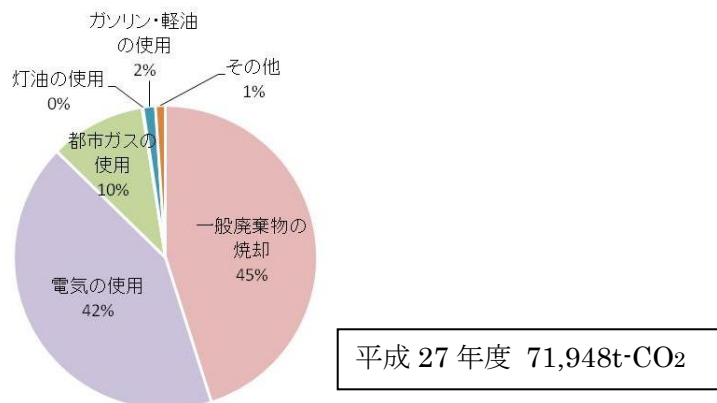
項目	H23 年度 実績 (基準年度)	H27 年度		
		実績	目標	結果
温室効果ガス排出量	75,004	71,948 (4.1%削減)	4.0%削減	○
電気使用量	32,256 (71,680,693kWh)	30,288 (6.1%削減)	5.5%削減	○
都市ガス使用量	8,009 (3,591,442 m <sup>3</sup> )	7,381 (7.8%削減)	1.0%削減	○
LPG 使用量	405 (61,821 m <sup>3</sup> )	320 (21.0%削減)	15.0%削減	○
灯油使用量	576 (231,230 l)	72 (87.5%削減)	80.0%削減	○
軽油使用量	707 (274,156 l)	669 (5.4%削減)	12.0%削減	×
重油使用量	203 (74,973 l)	268 (32.0%増加)	0%削減	×
ガソリン使用量	291 (125,569 l)	278 (4.5%削減)	10.0%削減	×
非エネルギー部門 からの温室効果ガス 排出量	32,557	32,671 (0.4%増加)	1.5%削減	×

### ③発生源別温室効果ガス排出量の割合

平成27年度の発生源別の温室効果ガス排出量の割合は、図2のとおりです。

発生源別でみると、「電気の使用」や「一般廃棄物の焼却」に伴う温室効果ガスの排出量の割合が全体の85%以上を占めています。

図2 主な発生源別温室効果ガス排出量の割合



### (3) 平成 28 年度の目標設定

枚方市役所CO<sub>2</sub>削減プラン（2013～2017年度）では、2017（平成29）年度の温室効果ガス排出量を2011（平成23）年度比で6%以上削減することを目標とし、年度単位では、1%の削減を見込んでいます。これは、省エネ法では、中長期的に見て年平均1%以上のエネルギー消費原単位を低減することが求められており、府条例でも温室効果ガスの排出削減目標を3年で3%以上削減することを目安としているためです。

こうしたことから、平成28年度は、基準年度の平成23年度から温室効果ガスの総排出量を5%削減する必要があります。この目標を達成するため、表3のとおり、平成28年度のエネルギー等の削減目標を設定しました。

<表3 平成 28 年度目標>

(単位：t-CO<sub>2</sub>)

項目	H23 年度実績 (基準年度)	H27 年度 実績	H28 年度 目標	H29 年度目標 (最終年度)
温室効果ガス排出量	75,004	71,948 (4.1%削減)	5.0%削減	6.0%削減
電気使用量	32,256 (71,680,693kWh)	30,288 (6.1%削減)	5.7%削減	7.0%削減
都市ガス使用量	8,009 (3,591,442 m <sup>3</sup> )	7,381 (7.8%削減)	7.8%削減	9.0%削減
LPG 使用量	405 (61,821 m <sup>3</sup> )	320 (21.0%削減)	21.7%削減	23.5%削減
灯油使用量	576 (231,230 ℓ)	72 (87.5%削減)	87.6%削減	89.0%削減
軽油使用量	707 (274,156 ℓ)	669 (5.4%削減)	6.3%削減	7.6%削減
重油使用量	203 (74,973 ℓ)	268 (32.0%増加)	0%削減	0%削減
ガソリン使用量	291 (125,569 ℓ)	278 (4.5%削減)	5.6%削減	7.2%削減
非エネルギー部門からの温室効果ガス排出量	32,557	32,671 (0.4%増加)	2.0%削減	2.7%削減

### 3. エコオフィスに関する取り組み指針に基づく取り組み

#### (1) 平成 27 年度の取り組み実績と目標達成状況

エコオフィスに関する取り組み指針では、エネルギー使用量の削減目標に加え、水道や紙の使用量などの省資源の取り組みについても目標を設定し、取り組みを行いました。

平成27年度の取り組み実績は、表4のとおりです。3項目中、2項目で目標を達することができました。

「紙使用量」については、目標を達成することができませんでしたが、これは、基準年度である平成23年度に含めていなかった保健所等の使用分に加え、国勢調査や中学校給食開始に伴う給食ニュースの発行などに伴う紙使用量が増加したことが主な要因と考えられます。

<表4 平成27年度実績>

項目	H23 年度実績 (基準年度)	平成 27 年度		
		実績	目標	結果
水道使用量 (m <sup>3</sup> )	1,003,023	944,520 (5.8%削減)	4.0%削減	○
紙使用量 (A4 換算) (枚)	25,319,623	28,128,862 (11.1%増加)	9.0%削減	×
庁舎からのごみ排出量 (t)	19.58	17.91 (8.5%削減)	0%削減	○

#### (2) 平成 28 年度の目標設定

平成28年度の取り組み目標は、表5のとおりです。

<表5 平成28年度目標>

項目	H23 年度実績 (基準年度)	H27 年度実績 (削減率)	H28 年度目標
水道使用量 (m <sup>3</sup> )	1,003,023	5.8%削減	6.0%削減
紙使用量 (A4 換算) (枚)	25,319,623	11.1%増加	9.0%削減
庁舎からのごみ排出量 (t)	19.58	8.5%削減	9.5%削減